



「環境問題を考える」

展示期間：2013年11月26日(木)～2014年1月17日(金) 展示場所：1Fアメニティゾーン

地球温暖化、ごみ問題、大気汚染、オゾン層破壊……。現代社会を悩ませる環境問題は、数知れません。そんな環境問題についての資料を、様々な視点から集めました。今、地球のためにできることや考えたいこと、図書館から発信します。

	書名 (※OPACへのリンクがはってあります)	著者	出版社	出版年
1	環境と化学：グリーンケミストリー入門。-- 第2版	荻野和子, 竹内茂彌, 柘植秀樹編	東京化学同人	2009.3
2	地球環境の化学(役にたつ化学シリーズ / 村橋俊一, 戸嶋直樹, 安保正一編集 ; 9).	梶井克純 [ほか] 著 ; 村橋俊一, 御園生誠編	朝倉書店	2006.2
3	地球温暖化バッシング：懐疑論を焚きつける正体	レイモンド・S.ブラッドレー著 ; 藤倉良, 桂井太郎訳	化学同人	2012.8
4	理工系学生のための生命科学・環境科学	榊佳之, 平石明編	東京化学同人	2011.5
5	中国の環境・エネルギー分野の現状と動向 ; 平成22年版		科学技術振興機構イノベーション推進本部研究開発戦略センター中国総合研究センター	2010.12
6	エネルギー・環境への考え方：その提言と問いかけ	谷口博著作代表	養賢堂	2008.2
7	アリスのグリーン市民への旅：環境と省エネルギーをやさしく学ぶ (B&Tブックス).	福田遵著	日刊工業新聞社	2011.8
8	省エネルギー30年の歩み：地球環境保全をめざして：1978-2008	省エネルギーセンター編集	省エネルギーセンター	2008.10
9	イギリスの水辺都市再生：ウォーターフロントの環境デザイン (ヨーロッパ建築ガイド).	樋口正一郎著	鹿島出版会	2010.4
10	環境健康都市宣言!!：キャンパスからのまちづくり	栗生明著	鹿島出版会	2007.12
11	奪われし未来。-- 増補改訂版	シーア・コルボーン, ダイアン・ダマノスキ, ジョン・ピーターソン・マイヤーズ著 ; 長尾力, 堀千恵子訳	翔泳社	2001.1
12	正義で地球は救えない	池田清彦, 養老孟司著	新潮社	2008.10
13	環境を知る旅：エンジニアによる環境の持続可能性	西澤重雄著	アドスリー	2012.2
14	生存の条件：生命力溢れる太陽エネルギー社会へ	地球環境問題を考える懇談会 [編]	旭硝子財団	2010.5
15	科学者が読み解く環境問題 (CMC books).	武田邦彦著	シーエムシー出版	2009.10

	書名 (※OPACへのリンクがはってあります)	著者	出版社	出版年
16	地球環境危機からの脱出：科学技術が人類を救う(ウェッジ選書；20).	レスター・ブラウンほか著	ウェッジ	2005.7
17	森と山と日本人：自然と人間の共生	仙道富士郎編著	NTT出版	2008.1
18	質を保障する時代の公共性：ドイツの環境政策と福祉政策	豊田謙二著	ナカニシヤ出版	2004.9
19	環境ビジネスリスク：環境法からのアプローチ	松村弓彦編著	産業環境管理協会	2009.6
20	地域環境デザインと継承。-- 第2版(シリーズ地球環境建築；専門編；1).	日本建築学会編	彰国社	2010.10
21	エコ住宅でエコライフ：環境を守り愉快地に住む実践録/設計ガイド	濱恵介著	クリエテ関西	2010.6
22	エコ電気自動車のしくみと製作	日本太陽エネルギー学会編	オーム社	2006.9
23	燃焼工学入門：省エネルギーと環境保全のための	水谷幸夫著	森北出版	2003.1
24	プラスチックの木でなにが悪いのか：環境美学入門	西村清和著	勁草書房	2011.12
25	オルタナティブ・ヴォイスを聴く：エスニシティとジェンダーで読む現代英語環境文学103選	横田由理 [ほか] 編集	音羽書房鶴見書店	2011.7
26	森が消えれば海も死ぬ：陸と海を結ぶ生態学。-- 第2版(ブルーバックス；B-1670).	松永勝彦著	講談社	2010.2
27	環境問題の社会史(有斐閣アルマ；Interest).	飯島伸子著	有斐閣	2000.7
28	文系のための環境科学入門(有斐閣コンパクト).	藤倉良, 藤倉まなみ著	有斐閣	2008.9